

IDSN（国際ダリット連帯ネットワーク）
カースト差別に反対する国際活動ネットワーク

2020年3月27日

命を救うために COVID-19 救援における差別の防止を

COVID-19 が世界中で広がるなか、決定的に重要なのは、救援、保健サービスおよび意識啓発の取り組みを、カースト、民族、宗教、性的指向、障害その他の要因にかかわらず、すべての人にとって包摂的かつアクセス可能なものとすることである。COVID-19 への対応は時間との勝負だが、一瞬だけ立ち止まって、国際社会・国・地方の各レベルで実施される COVID-19 対策においてダリットのようなハイリスク・コミュニティが包摂され、対応されるようにすることこそ、数百万人の命を救うことにつながる。

IDSN およびその加盟団体はこれまで、洪水、旱魃、地震のような多数の災害に関連して、救援活動の際に差別が行なわれていることを記録してきた。こうした救援活動の際、ダリットは、深く根差したスティグマと差別のために、取り残され、救援物資を公正に配分されず、保健ケア、シェルターまたは復興への平等なアクセスを認められなかった。

カーストが存在する国々でも COVID-19 が蔓延するリスクは高いのであるから、カースト差別および差別的な不可触制の慣行に特有の性質を考慮に入れることは決定的に重要である。そのため、COVID-19 の深刻な影響を緩和するための取り組みの計画および実施に際しては、ダリット・コミュニティと市民社会組織が協議および包摂の対象とされなければならない。

ダリットがとくにハイリスクな集団となってしまうことにつながる 8 つの主要な要素としては、以下のものがある。

- ダリット・コミュニティは、顧みられることが少なく、優先順位も低い隔離された地域に暮らしていることが多い。これまで、これらの地域が意識啓発活動、アウトリーチ型の保健サービス、救援のための取り組みの対象から外される事例が記録されてきた。
- ダリットは自宅で清潔な水や衛生設備にアクセスできないことが多い。
- ダリットの多くは過密な空間で生活しており、家族全員で 1 つか 2 つの部屋を共有している。そのため、生活空間での物理的距離の確保や隔離は不可能である。
- ダリットは、日雇い労働者、在宅労働者または現代的奴隷として非組織部門で働く短期契約労働者のかなりの部分を占めている。すなわちダリットは、COVID-19 の拡散を抑えるための措置により、いずれかの時点で所得や家族を食べさせるための手段を失う可能性があるということである。
- 社会的スティグマおよび不可触制のため、ダリットが保健ケア施設にアクセスしようとする際に差別が行なわれていることについては豊富な記録があり、ダリットは取り残されるおそれや治療を最後に回されるおそれに直面している。

- ダリットの栄養不良率や貧困率は他の集団に比べて相当に高いため、免疫系が弱まっていることが多い。さらに、ダリット・コミュニティの間では、死亡率が他よりも高く、識字率は他よりも低いという状況が広がっている。
- ダリットはインドの清掃労働者の圧倒的多数を占めている。これには、適切な防護具もなのまま人糞の処理や下水道の清掃に従事する、マニュアル・スカベンジャーとして働くダリットも含まれる。
- カーストおよびジェンダーに基づく複合差別の存在は、ダリットの女性がとりわけリスクにさらされていることを意味する。

8つの主要な勧告：

- COVID-19 に関連する保健ケア、救援および経済的補償への平等なアクセスを確保するための取り組みの計画と実施を進めるにあたって、またダリット・コミュニティの状況に関連して必要とされる追加的な特別措置をとる場合にはその際にも、ダリット・コミュニティ、選挙で選ばれた村議会のダリット代表および市民社会組織と協議し、かつその包摂を図る。
- カーストが存在する国々で出される COVID-19 関連のいかなる政策文書、ブリーフィングおよび注意喚起においても、カースト差別およびジェンダー差別が明示的に取り上げられかつ言及されることを確保する。
- COVID-19 の拡散阻止のための政策を、個々のコミュニティに特有の住宅・生活環境に合わせて調整する。ダリット・コミュニティおよびダリット住民は過密な状況にあるため、政府は治療・スクリーニングのための常設保健キャンプを設置するべきである。
- 救援関係者、サービス事業者、広報関係者または保健ケア従事者および NGO に対して、ダリット・コミュニティに平等に給付および救援を行なうようにするとともにその記録をとること、カーストに基づく特別待遇を行なわないようにすることを要請する。ダリットの医療従事者・供給者を募集する体制を整え、また医薬品を補助の対象または無償とする。
- 経済的補償、生活資金保障、アウトリーチ支援および基礎的必需品などの措置を調整して、土地を持たない人々およびインフォーマル部門で働く人々（在宅労働者、資格外労働者、日雇い労働者、請負労働者を含む）もこれらの措置の対象となるようにするとともに、清掃労働者に適正な防護手段を提供する。
- ゴミ拾い、非正規なゴミ収集および清掃労働に従事しているダリットを対象とした、具体的な支援介入策（個人用の防護具や安全装備を常に入手できるようにすることなど）を実施する。石鹸と水で手を洗うための設備および消毒剤は必置とするべきである。
- 地域封鎖（ロックダウン）の場合：ダリットおよび非ダリット住民のうち貧困線を下回る生活水準の者や日雇い労働に従事している者を対象とする、政府の特別部署、電話相談窓口、即応部局または単一のワンストップ窓口が整備されるべきである。このような組織は、封鎖期間中、配給品または必須物品（食料、石鹸、マスク、飲用水など）の即時的な供給および調達を具体的に担うことになる。
- 国および州に設けられている人権機関は、政府がとるすべての措置において誰ひとり取り残されないことを確保するため、状況のモニタリングを開始するべきである。

以上は、一般的レベルの主要な勧告をいくつか挙げたにすぎない。IDSN の加盟団体である「全国ダリット人権キャンペーン」は、より具体的な勧告を含み、インド政府に宛てた行動の要望を詳しく展開したアピールを公表しており、これを IDSN も支持している。そこで述べられていることの多くは、カーストが存在する他の国々にも適用することが可能である。南アジア全域の IDSN 加盟団体はまた、状況が悪化するなか、ダリット・コミュニティをアウトリーチによって支援するために結集しつつあり、今後も状況のモニタリングを続けていく。

<日本語訳：反差別国際運動>

国際ダリット連帯ネットワーク (IDSN)

info@idsn.org/ www.idsn.org

Twitter: @idsnupdates

原文： <https://idsn.org/saving-lives-by-preventing-discrimination-in-covid-19-relief/>